

Contents

- ✓ インカレロング総集編
- ✓ 日本学連後援大会のご案内
- ✓ 日本学連の動き（インカレスプリント、大学院生の加盟登録、インカレミドル）

インカレロング総集編

10月12日（日）、今年度のインカレロングが「トリムパークかなづ」（福井県あわら市）とその周辺の山地を舞台に開催され、たくさんの参加者・選手・観客を迎え、多くの死闘が繰り広げられた大会となりました。さらに、その前日の11日（土）には、インカレスプリントが試行大会という形で開催され、ロングやミドルとは違った雰囲気の中のレースを選手・観客ともに味わうことができました。

それからもう2か月ほど経ってしまいましたが、福井の地で繰り広げられた熱戦を振り返ってみたいと思います。

1日目

【タイムスケジュール】

（※時刻はプログラム記載のものです）

10:00 開場・受付開始

11:00 ME・WE スタート待機地区への入場開始

11:30 ME・WE スタート待機地区への入場締切
観戦ガイド配布開始

12:00 ME・WE スタート

14:00 MEC・WEC スタート開始
モデルイベント入山開始

16:00 日本学連総会

16:15 インカレロング優勝杯返還

16:20 テクニカルミーティング開始



インカレスプリント優勝杯



次のポストへ向かう選手と見守る観衆



ポスト前やゴール前で選手を待つ人々

2日目

(※時刻はプログラム記載のものです)

8:00 屋外エリア開場・受付開始

-各大学 の円陣-



東北大



筑波大



早大OC



東大OLK



KOLC



大阪大・奈良女子大

9:30 一般の部 スタート開始

11:00 選手権の部 スタート開始

-応援-

11:15 一般の部 スタート閉鎖

13:15 一般の部 フィニッシュ閉鎖

13:21 選手権の部 スタート閉鎖

13:30 地図返却・販売開始



インカレ優勝杯



応援する観衆



応援の中ゴールに向かって駆け抜ける選手



ゴール直後の選手



選手権の部順位確定後、胴上げされる入賞者（名古屋大）

15:00 表彰式
(スプリント競技部門・ロング・ディスタンス競技部門)

表彰式の様子

【インカレスプリント選手権の部】



ME



WE

【インカレロング一般の部】



表彰後の記念撮影



表彰式で大会をPR (第36回筑波大学大会)

【インカレロング選手権の部】



ME



WE

インカレロング上位者のコメント

(ME・WEは表彰式でのコメント、他のクラスは競技終了後にお聞きしたものです)

ME

松下 睦生選手 (京都大4・1位)

1年生の時にインカレに来てから、この位置に立ちたいとずっと思っていたので、ようやくそれが達成できて本当にうれしい。春インカレではミドルもリレーもいい結果を残して、ぜひ3冠を達成したいと思う。

WE

稲毛 日菜子選手 (お茶の水女子大4・1位)

(表彰台の一番高いところは)いい景色である。(4年生でインカレは来年3月のミドルが最後となるが)ロングの事を考えすぎて、ミドルの事は全く考えていなかったの、休んでから考えたい。ミドルではみんなを沸かせられるような走りをできれば、と思う。

MUL

村田 祐貴選手 (新潟大4・MUL1 1位)

MUL1で優勝できて本当にうれしいです。タフなレースになることは想定していたので序盤のミス、藪での失速を気にせず思いっきり走れたことがよかったです。ロングではエリートで走ることが叶わなかったの、ミドルに向けてまずセレクション通過から目指していきたいです。

MUF

小林 隆嗣選手 (東北大1・MUF1 1位)

思う存分走ることができた。大体イメージ通りに、スムーズに走ることができた。

堀江 優貴選手 (東北大1・MUF2 1位)

終始気持ちよく走ることができた。道走りが多かったが、地図が読めて、スムーズに行くことができた。

WUF

鈴木 直美選手 (筑波大1・WUF 1位)

●走り終わった感想

トップスタートでとても緊張していましたが、レース前には緊張よりも思いっきり楽しもうという気持ちが強くリラックスしたままレースに臨むことができました。ゴールした瞬間はペナってなくて良かった、トップスタートトップゴールできて良かったなと思いました。そして一番高い表彰台に上ることができてとても嬉しかったです。

今回のレースでは攻めずにすべてで道だけをたどりました。道を使わずに切った方が速いレッグもあったかもしれませんが今の自分の実力だと道を全力で走ることが速いと判断したので道走りに専念しました。道走りの際はライバルの背中を頭の中で練成して一秒でも速く走れるように頑張りました。

●今後の目標

私は4月にオリエンを始めたときは地図が全く読めませんでした。しかしオリエン上手くなって活躍できるようになりたいと思い、夏は毎週土日山でオリエンし平日は走りこみました。そしてインカレで優勝することができて本当にうれしいです。これからどんどん活躍して、努力に勝る才能はないということを日本のオリエンテリング界に示したいと思います。厳しいとは思いますがミドルセレはA通過できるように来年JWOC日本代表になれるように日々自分を追い込みたいと思います。そしてインカレのエリートクラスで表彰台に登ってマイク無しでインタビューしたいと思います！日本のオリエンテリング界に筑波に私のあだ名である「らいおんまる」ありと言われるよう精進したいと思います。

増山 春菜選手 (筑波大1・WUF 2位)

悔いの残るレースとなりました。ミスをしたことよりも、これまでの自分の甘さに心底がっくりきています。具体的な目標を立てながらミドルに向けて頑張っていきたいと思います。

これから開催予定の日本学連後援大会

●「いぶき」発行日(2014年12月12日)以降に開催される大会について、開催日の早い順に、2014年12月11日現在の情報で掲載しています。詳しくは各大会の公式サイトや大会要項・プログラムなどをご確認ください。

●参考:日本学連幹事会議事録、各大会公式サイト・大会要項、Orienteering.com(<http://www.orienteeing.com/index-j.htm>)

第34回筑波大学オリエンテリング大会

- 開催日:2015年1月25日(日)
- 主催:筑波大学体育会オリエンテリング部
- 開催場所:栃木県矢板市境林、高塩、館ノ川、山苗代地区
- 会場:矢板市立川崎小学校体育館
- 競技形式:ミドルディスタンス競技
- 事前申し込み締め切り:12月23日(火)
- 公式HP: <http://www.orienteeing.com/~tsukuba/34/>

第35回早大OC大会

- 開催日:2015年2月22日(日)
- 主催:早稲田大学オリエンテリングクラブ(早大OC)
- 開催場所:静岡県裾野市
- 会場:裾野市立深良小学校(予定)
- 競技形式:ロング・ディスタンス競技、ミドル・ディスタンス競技
- 事前申し込み締め切り:2015年1月25日(日)
- 公式HP: <http://wasedaoc.oteage.net/35octaikai/index.html>

第19回京大京女オリエンテリング大会

- 開催日:2015年3月21日(土)
- 主催:京都大学オリエンテリングクラブ(京大 OLC)
京都女子大学オリエンテリングクラブ(京女 OLC)
- 開催場所:滋賀県日野町 グリム冒険の森
- 競技形式:ロングディスタンス競技
- 公式HP:<http://kuolc.dip.jp/kucomp19/>
- ☆前日大会開催(2015年3月20日(金)・京都大学)

日本学連 Twitter (@tw_uofj)

日本学連に関する情報を配信中

インカレスプリント 来年度からの創設・開催が決定

インカレスプリントは、昨年度から、実施の是非や実施する場合の開催の在り方などについて議論されてきました。そして、今年度のインカレロングの前日に試行大会という形で開催され、それについてのアンケートが直後に実施されました。

その後、今回の試行大会で見てきた課題や今後の展望について、アンケート結果を踏まえて、11月に開催された臨時幹事会で議論した結果、来年度以降、「インカレスプリント」として、正式なインカレを開催していくことの決議を求めることとなりました。基本的な方針として、インカレロング前日に開催することとし、スプリント競技の定着を図るために、開催場所を数年間はインカレロング会場周辺の場所とし、チャレンジクラスを設けることとなりました。

また、インカレの準備の都合上、12月7日(日)に栴の湖(岐阜県)で開催された全日本リレーに合わせて、臨時総会を召集し、その決議を委ねることとなりました。そして、採決の結果、来年度からインカレスプリントを正式なインカレとして開催することが、全会一致で決定されました。

大学院生の加盟登録 幹事会は認めない方針に

大学院生の加盟登録については、第61回総会でも議題となりましたが、「大学院生の加盟登録をそもそも認めるべきかどうか」、また認めた場合、「インカレ選手権の部で優勝した場合、学生たちに学生日本一と認めもらえるのか」などといった、検討すべき課題が多く、「加盟登録の対象をどこ(大学院生・専攻科学生・聴講生・研究生)まで含めるべきか。」「もし大学院生の加盟登録を認める場合、大学生とは分けるべきなのか。また「大学院生のインカレ出場は一般クラスのみ認める」という制限を設けるべきか。」という2点について、再度各加盟校での議論を求めるとしました。

まず、加盟登録を認める対象者については、高専の専攻科学生については、大学3・4年生相当であることから、幹事会では、加盟を認める方針で一致しました。なお、専攻科は大学や短大にも設置されていますが、大学専攻科については大学院生と同じ扱いとすることとし、短大専攻科については高専専攻科学生と同じとみなすかどうか、臨時総会で議論することとなりました。一方、研究生・聴講生についても、正規生でないことを理由に、学連への加盟登録を認めない方針としました。そして、大学院生については「もしインカレチャンピオンになった時、我々は気持ちよく真の学生チャンプと認められるのかどうか、疑問である」として、加盟登録を認めない方向となりました。

インカレミドル 開催の在り方について本格的な見直しへ

現在、インカレミドルの選手権Bについて、「その扱いが一般クラスとほぼ同じであるため、廃止してもよいのではないか」として、インカレミドル開催の在り方について、見直しがされ、11月に開催された幹事会でも、そのことが話し合われました。技術委員会からは、インカレミドルについてのアンケートの結果が示され、現在考えている再編案について説明がありました。アンケート結果によると、加盟員の約6割がインカレミドル選手権Bの廃止に賛成しており、その理由として「一般クラスとほぼ同じ扱いである」ことが多く挙げられていました。一方、反対理由として、「モチベーションを維持したい」とか、「選手権Bを目指している人のために残してほしい」「新人が目指すクラスとしてちょうどいい」という意見がありました。このアンケート結果を踏まえ、技術委員会では、これまで示していた「インカレミドル選手権Bを廃止し、その代わりに一般の部に上位クラスを設ける」とする案を改め、「選手権Bを廃止し、上位クラスは設けない代わりに、選手権Aの出場人数を増やす」という案を新たに示されました。この案については、12月の日本学連臨時総会で各加盟校に説明し、意見集約などを経て、来年3月の第62回総会で開催方式の再編について決定することとなりました。

インカレミドル・リレー要項2が発行、各地区でミドルセレ開催

11月3日(日)、インカレミドル・リレーの要項2が発表されました。それによりますと、インカレミドル・リレー2014は、2015年3月5日(木)～8日(日)に愛知県新城市で開催され、このうち、7日(土)にはミドルディスタンス競技、8日(日)にはリレー競技がそれぞれ実施されます。なお、12月1日には、更新版として要項2.2が発行されています。

一方、各地区学連ではミドルセレの日程が決定され、他の地区に先駆けて、11月30日(日)には関西学連ミドルセレが黒添池(くろんどいけ、大阪府・奈良県)で開催されました。なお、12月21日(日)には不動の滝(栃木県)で北東・関東学連合同、28日(日)には鳥追窪(静岡県)で東海学連・北信越学連合同のミドルセレがそれぞれ行われます。

☆インカレミドル&リレー 大会ホームページ: <http://www.orienteering.com/~ic2014/>

この記事は、一部を除き、以下からの抜粋です。詳しい内容は、こちらをご参照ください。(日本学連 HP に掲載)

- ・第61回日本学連総会 議事録 <http://www.orienteering.com/~uofj/?blogid=1&catid=5&itemid=884>
- ・2014年度臨時日本学連幹事会 議事録 <http://www.orienteering.com/~uofj/?blogid=1&catid=5&itemid=890>

【編集後記】

インカレロングが終わってから2か月近くが経った一方、インカレミドル・リレー本番まで残すところあと80日余りとなりました。すでに関西学連ではミドルセレが開催され、他の地区でも今月の終わりには、選手権の部出場者が決定します。

セレクションや大会などが続く季節です。けがや風邪に気を付けてお過ごしください。

ご意見・ご要望などは、こちらまでお寄せください。 carrycshtearly@gmail.com ★→@ (広報部長アドレス)

日本学生オリエンテーリング連盟広報紙

《いぶき》2014年度第4号

2014年12月12日 発行

編集責任者: 高橋 秀明 (広報部長・金沢大)

日本学連ホームページ

<http://www.orienteering.com/~uofj/>

日本学連 Twitter: @tw_uofj